

令和6年度

音 楽

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。  
なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、  
試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。  
同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号	-----	氏 名	
----------	-------	--------	--

【注意1：声を出して歌ったり、音をたてて拍子を取ったりしないこと】

【注意2：問1及び問2は、放送を聴いて答えること】

【問1】 放送を聴きながら答えなさい。

- (1) リズムの聴き取りです。演奏は3回繰り返します。聴き取ったリズムをリズム譜に書きなさい。
- (2) 旋律の聴き取りです。演奏は3回繰り返します。聴き取った旋律を楽譜に書きなさい。
- (3) 2声の旋律の聴き取りです。演奏は3回繰り返します。聴き取った旋律を楽譜に書きなさい。

【問2】 放送を聴きながら答えなさい。

- (1) Aの曲を聴いて答えなさい。
  - ① この曲の曲名を書きなさい。
  - ② 次の文は、この曲について説明したものである。文中の **a** ~ **d** に当てはまる適切な語句や数字を書きなさい。

この曲を演奏している楽器は **a** です。この楽器は、標準的な楽器の全長が一尺 **b** (約55cm) であり、この名前がついたと言われています。この曲は、江戸時代に虚無僧であった初世 **c** が、各地に伝わる **a** 曲を収集し、30余曲を **d** として制定した中の一つで、二管で演奏されることが多いです。

- ③ この曲を演奏している楽器は、5つの指孔の開閉と歌口に当てるあごの角度調節によって、様々な音高をつくり出す。歌口に当てた顎を頭ごと手前に引いて、音を半音ないし全音低くすることを何というか、書きなさい。
- (2) Bの曲を聴いて答えなさい。  
 次の文は、この音楽について説明したものである。文中の **a** ~ **c** に当てはまる適切な語句を語群ア〜キから選び、記号を書きなさい。また、**d** にあてはまる国名を書きなさい。

この音楽は **a** を材料にして作られた打楽器を中心とした器楽合奏であり、**b** と呼ばれています。主に **c** の伴奏のための音楽として演奏されています。この曲は、主に **d** に伝わる五音音階を基本とした音楽です。

- |         |       |        |      |
|---------|-------|--------|------|
| 語群： ア 木 | イ ケチャ | ウ ガムラン | エ 舞踏 |
| オ カヤグム  | カ 金属  | キ 歌唱   |      |

- (3) Cの曲を聴いて答えなさい。
  - ① この曲が含まれる歌劇の名称と作曲者名を書きなさい。
  - ② この歌劇中のア、イを歌う歌手の声の種類（パート）を書きなさい。  
 ア 第1幕「清きアイーダ」    イ 第3幕「おお、わが故郷」
- (4) Dの曲を聴いて答えなさい。
  - ① この曲の曲名、作詞者名、作曲者名を漢字で書きなさい。
  - ② この曲の作詞者は作詞当時の様子を、<〜戦争で焼失する以前の、外国人の多いエキゾチックな **□** の街を思い浮かべて書いた〜>とふりかえっている。**□** に当てはまる日本の都市名を書きなさい。
  - ③ この曲と作詞者または作曲者のどちらかが同じ作品はどれか。次のア〜オから全て選び、記号を書きなさい。  
 [ ア 歌劇「夕鶴」    イ 早春賦    ウ ぞうさん    エ めだかの学校    オ 夏の思い出 ]
- (5) Eの曲を聴いて答えなさい。
  - ① この曲の曲名と作曲者名を書きなさい。
  - ② この曲の説明について、適切なものを**選択肢ア〜ウ**から1つ選び、記号を書きなさい。
 

選択肢：	ア この曲の元は、イタリアの流行歌である。
	イ この曲は、曲中で短調に転じる箇所がある。
	ウ この曲は、主題と10の変奏で構成される変奏曲である。
- (6) Fの曲を聴いて答えなさい。
  - ① この曲の曲名と作曲者名を書きなさい。
  - ② 次の文は、この曲の作曲者と作品の構成について説明したものである。文中の **a** ~ **c** に当てはまる適切な語句を書きなさい。

この曲の作曲者は、1899年に初演された作品「**a**」(Op. 36)で名声を高めました。Fの曲は、**b** 長調の短い序奏(第1〜9小節)の後、**c** 長調の主部に入ります。

- (7) C〜Fの曲について、作曲された年が古い順に左から並べ、記号を書きなさい。

【問3】 下の【教材曲】に示す日本の民謡を教材とした中学校第1学年における題材「日本の民謡を味わおう」の授業について、次の問いに答えなさい。

**【教材曲】**  
 ア 小諸馬子唄    イ 木曾節    ウ 斎太郎節    エ こきりこ節    オ 会津磐梯山    カ 谷茶前

(1) 本題材では、鑑賞を中心とした授業を構想した。次の文章は、題材を設定するにあたり参照した「中学校学習指導要領」(平成29年3月)第2章 第5節 音楽 の一部である。本文に即して、a ~ k に適切な語句を書きなさい。

**第1 目標 (略)**

**第2 各学年の目標及び内容**  
**【第1学年】**

**1 目標 (略)**

**2 内容**

A 表現 (略)

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる a を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(カ)までについて自分なりに考え、音楽の b や c を味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠

(イ) 生活や社会における音楽の意味や d

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(カ)までについて理解すること。

(ア) e と音楽の構造との関わり

(イ) 音楽の特徴とその背景となる f や g、他の芸術との関わり

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の h

**第3 指導計画の作成と内容の取扱い**

**1 (略)**

**2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。**

(1)~(7) (略)

(8) 各学年の「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切なものを取り扱うこと。

イ 第1学年では i で説明したり、第2学年及び第3学年では批評したりする活動を取り入れ、曲や演奏に対する j やその k を明らかにできるよう指導を工夫すること。

(9)~(10) (略)

(2) 日本の民謡に興味をもったAさんは、日本の民謡について調べ、次のようにまとめました。

**【Aさんの調べたこと】**

日本各地には、たくさんの民謡が伝えられており、それらは人々の a暮らしの中から生まれ、時代とともに変化しながら現在も地域の人々のかけがえのない歌として歌い継がれている。

民謡は、その生まれた背景からいくつかの種類に b分類することができる。また、リズムや c使われる音階、歌い方に特徴がある。d伴奏には楽器を用いることもある。

- ① 下線部 a について、「なかのりさん節」とも呼ばれ、明治時代に町長が「盆踊り歌」として、一般市民に広めていった歌はどれか。【教材曲】ア～カから選び、記号を書きなさい。
- ② 下線部 b について、【教材曲】ウ 斎太郎節、オ 会津磐梯山は次の語群ア～オのうち、どれに当てはまるか、記号を書きなさい。  
 [ 語群：ア 仕事歌    イ 祝い歌    ウ 踊り歌    エ 座敷歌    オ 子守歌 ]
- ③ 下線部 c について、民謡の音階のひとつである都節音階において、1オクターブ内で使われている音の数を書きなさい。ただし、同じ音名の音は1音と数えます。
- ④ 下線部 d について、神楽踊り歌として、20～30cmの2本の竹の棒を打ち鳴らしながら歌われるものは何か。【教材曲】ア～カから1つ選び、記号を書きなさい。

(3) Bさんは、【Aさんの調べたこと】をもとに【教材曲】ア～カの民謡を聴き、どの地域に伝わるのか調べ、次の表1にまとめました。表1の①～④に当てはまる曲を下の【教材曲】ア～カからすべて選び、記号を書きなさい。

【教材曲】					
ア	小諸馬子唄	イ	木曾節	ウ	斎太郎節
		エ	こきりこ節	オ	会津磐梯山
				カ	谷茶前

表1

民謡が伝わる地域	該当する教材曲
東北地方に伝わる民謡	①
北陸地方に伝わる民謡	②
長野県に伝わる民謡	③
沖縄県に伝わる民謡	④

(4) Bさんは、【教材曲】を繰り返し聴くなかで、【教材曲】カの演奏に楽器が使われていることに気づき、その楽器に興味をもちました。

- ① 図1は、【教材曲】カの演奏に用いられる楽器である。楽器名を漢字で書きなさい。
- ② この楽器について、Bさんが調べたら以下のような資料を見つけました。資料について、空欄に当てはまる語句を語群より選び、記号を書きなさい。



**【Bさんが見つけた資料】**

この楽器は、沖縄・奄美などの南西諸島で使用される弦楽器である。概形は本土の三味線とほぼ同じだが、より（あ）である。胴には（い）の皮を貼る。演奏には、（う）と呼ばれる義甲を右手（え）にはめて演奏する。中国の「三弦」に由来する。棹の長さは三味線に比べて（お）。

- 【語群：
- |       |      |        |           |      |
|-------|------|--------|-----------|------|
| ア 小型  | イ 大型 | ウ ヘビ   | エ ヤンバルクイナ | オ 爪  |
| カ ブラシ | キ 親指 | ク 人差し指 | ケ 短い      | コ 長い |
- 】

③ 図2は、【教材曲】カの楽譜の一部を五線譜に書き表したものである。Bさんは、歌パートをクラリネット（B♭管）で演奏しようと考えた。伴奏を図2の楽譜通りピアノで弾き、クラリネットと合奏した時、ピアノと調性が合うようにクラリネット用に移調した歌パートの楽譜を五線に書きなさい。

図2

